

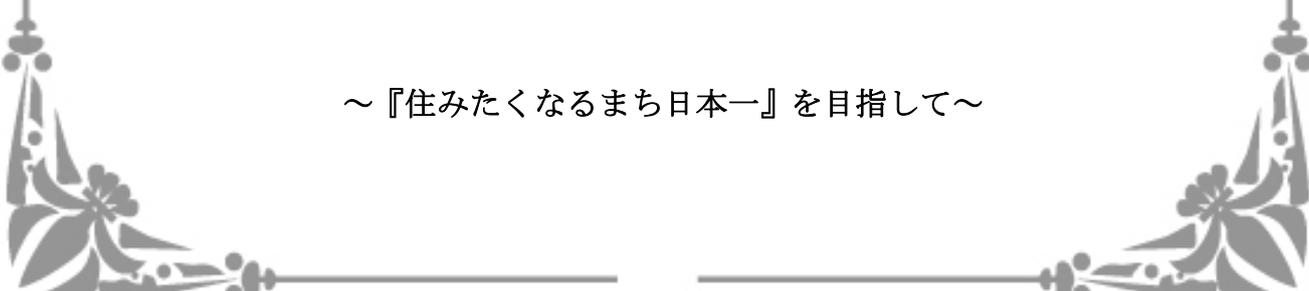
平成30年第4回富谷市議会定例会

市長挨拶

平成30年12月4日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～



1. はじめに

本日ここに、平成30年第4回富谷市議会定例会が開会されるにあたり、開会の挨拶に併せ、富谷市総合計画に掲げた、まちづくりの将来像、「住みたくなるまち日本一」の実現に向けた現在の取組概要について、ご説明申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

はじめに、11月10日付け河北新報に記事が掲載されました、本市学校給食の栄養量が摂取基準に満たしていなかった問題について、改めて、これまで栄養量が満たされていない給食を提供し続け、児童・生徒の皆様、保護者の皆様に対して、ご不安とご迷惑をお掛けしたことに、お詫びを申し上げます。

今後は、適正な栄養量の摂取を図るため、本市の学校給食の見直しを早急に図ってまいりたいと考えております。

つきましては、本定例会の補正予算に追加で関連経費を計上いたしますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

次に、本市は、10月29日に、日本ユニセフ協会から、全国5自治体のひとつとして、「子どもにやさしいまちづくり事業検証作業モデル自治体」として委嘱を受けました。これを受けて、国連が定める「世界子どもの日」である11月20日に、「子どもにやさしいまちづくり」を宣言し、併せて「記念フォーラム」を開催いたしました。

今後も、ユニセフから委嘱された検証作業を通じて、「子どもにやさしいまち」の実現に向けた検討を重ねてまいります。

2. 「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」について

それでは、富谷市総合計画の4つの基本方針と前期基本計画の体系に基づき、各種施策の実施状況について申し上げます。

まず、「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 商工業・雇用関連施策について

はじめに、商工業・雇用関連施策について申し上げます。

今年度2回目となる「宮城県企業立地セミナー」が、11月12日に名古屋市内において開催され、私自らが参加し、本市をPRしてまいりました。今後の繋がりを持ってそうな企業もありましたので、引き続き、より一層のトップセールスに努め、企業立地に向けて取り組んでまいります。

また、企業誘致と雇用拡大の一環として、本社機能の移転や拡充を図るため、「富谷市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除等に関する条例」制定議案を本定例会に提出しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

(2) 起業支援関連施策について

次に、起業支援関連施策について申し上げます。

オープンから5か月が経過した「とみぷら」の現状について、ご報告いたします。11月末日現在で、シェアオフィスの利用状況については、フリー席に5者、個室にも5者の方々に入居いただいております。起業準備のみならず、サテライトオフィス等としても施設を活用していただいているところです。

また、起業創業支援の強化として、10月1日から、地域ブランディングや地域活性化などの活動実績のある方に「コミュニティ・コンシェルジュ」として常駐いただいております。各種イベント運営等のほか、「富谷塾」の運営支援や地域課題への相談など、起業家育成支援のみならず、多方面での支援や相談を受けております。さらに、同日からは、くろかわ商工会富谷事務所が「とみぷら」2階に移転しており、コンシェルジュによる起業家育成支援とともに、商工会からの企業経営支援など、「とみぷら」の役割が充実してまいりましたので、施設の魅力を発信するとともに、IT関連企業等の誘致やビジネスマッチング等を積極的に展開してまいります。

(3) 農業関連施策について

次に、農業関連施策について申し上げます。

「とみやはちみつプロジェクト」については、採取された「はちみつ」を市内スイーツ店に提供し、「はちみつスイーツ」として活用いただきました。先日開催した「とみや国際スイーツ博覧会」では、個人向け販売とともに好評をいただ

いたところ です。

また、はちみつを使った「お土産品 3 品」も売れ行きが好調で、新たな商品販売への検討もしているところ です。

農作物有害鳥獣対策については、イノシシ対策として、物理柵を一ノ関、二ノ関、志戸田地区の 3 地区に支給し、設置が完了しております。

また、明石、西成田地区の一部においても、物理柵設置の要望がありましたので、年度内の設置完了に向け、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく申し上げます。

今後とも、生産者皆様の安心安全対策として、農作物の被害拡大防止に取り組んでまいります。

(4) 観光・地域振興施策について

次に、観光・地域振興施策について申し上げます。

「2020 年富谷宿 開宿 400 年祭」に向け、機運向上を図る目的で、県の市町村総合補助金を活用し、「富谷宿 街道まつり」を 10 月 13 日に開催いたしました。当日は、秋晴れの好天に恵まれ、往時を感じさせる時代行列など、様々な催しに、議会の皆様をはじめ、18,300 人の方々にお越しいただき、大盛況のうちに終えることが出来ました。実行委員をはじめ、議会の皆様、そして関係者の皆様に、心より感謝を申し上げます。

また、3 回目となる「とみや国際スイーツ博覧会」については、地方創生推進交付金を活用し、10 月 27 日・28 日の両日、富谷市総合運動公園を会場に開催いたしました。

市内スイーツ店はもとより、県内外、国外から約 60 店舗の皆様にご出店いただき、こちらも大盛況のうちに終えることができました。

今年も、昨年に引き続き、コロンビア大使館の全面的なご支援をいただき、大使館専属シェフ監修のもと、「旅するパティシエ」鈴木文（すずき あや）シェフの協力をいただきながら、コロンビアの郷土スイーツの提供や世界 20 か国の厳選スイーツを紹介するコーナーなど、国際色豊かな催しとなりました。

お陰様で、来場者数は、初日の雨にもかかわらず、2 日間で、昨年を上回る 4 万 5 百人となり、地方創生総合戦略の目標「とみやシティブランドの確立」へ向け、大きく前進したものと思っております。

改めて、実行委員会をはじめ、出店いただきました県内外のスイーツ店の皆様、

協賛企業の皆様に対しまして、心より感謝を申し上げます。

今後は、これまでの事業内容を検証し、実行委員会を始め、多くの市民の皆様のご意見を伺いながら、2020年開催予定の「富谷宿 開宿 400年祭」も視野に入れ、更に取り組を進めてまいりたいと考えております。

(5) 公共交通関連施策について

次に、公共交通関連施策について申し上げます。

新公共交通システム推進事業については、先の議員全員協議会でもご説明申し上げましたとおり、国土交通省の街路交通調査費補助金を活用し、本市の将来の魅力ある都市像や交通体系の姿を示す「富谷市公共交通ランドデザイン」の策定を進めております。今後も引き続き、関係機関と連携を図りながら、これまでの調査結果を踏まえ、まちづくりと一体的に戦略的な交通施策を進めてまいります。

(6) 道路関連施策について

次に、道路関連施策について申し上げます。

社会資本整備総合交付金を活用して進めている市道穀田三ノ関線の道路改良事業については、用地取得を順次進め、工事についても本格的に開始したところでございます。今後は、平成32年度末の事業完成に向け、一層努力してまいります。

(7) 土地利用関連施策について

次に、土地利用関連施策について申し上げます。

仙塩広域都市計画第6回定期見直しにおいて、平成22年5月に市街化区域に即時編入された「明石台東地区開発事業」は、平成23年6月から事業に着手し、同年11月には宅地の販売を開始しました。

最初に販売を開始した明石台七丁目は、平成27年3月に販売が完了し、次に販売を開始した九丁目も、ようやく販売完了の見通しがついたことから、今年の9月から八丁目の宅地販売が開始されたところです。

明石台八丁目には、231区画の宅地があり、販売が完了するまでには、今後3年程度かかる見込みであることから、「明石台東地区」全体の土地利用が完了するまでには、結果として、販売開始から10年の歳月を要することとなります。

これは、宅地の販売において、お客様の選択肢が限られていたことから、販売が思うように進まなかったために起こったことであり、このことが人口増の鈍化の要因のひとつとなっています。

そのため、第7回定期見直しで市街化区域に編入した住居系地区の開発事業者とは、住宅を求めたお客様の選択肢を広げ、住宅供給の促進と土地利用の早期完成を目指すよう協議しております。

また、第7回定期見直しにおいて、特定保留地区に位置づけられた「成田二期西地区」及び「成田二期東地区」については、市街化区域編入に向けた説明会が、10月12日に本市役所において開催されました。引き続き、都市計画案の縦覧や都市計画審議会など、来年5月の市街化区域編入に向け、手続きを進めてまいります。

(8) 住宅・公園・上下水道関連施策について

次に、住宅・公園・上下水道関連施策について申し上げます。

公営墓地の整備については、「(仮称) やすらぎパークとみや整備基本計画」が10月末に完成いたしました。内容につきましては、先の議員全員協議会で説明させていただきましたが、計画スケジュールのとおり、平成35年度の供用開始に向け、取り組んでまいります。

3. 「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」について

続きまして、「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 教育・青少年健全育成関連施策について

はじめに、教育・青少年健全育成関連施策について申し上げます。

現在、小中学校へのエアコン設置に向けた設計業務は、計画どおり進捗しております。

また、10月5日には、文部科学省に出向き、エアコン設置に対する補助要望を直接行ってきたところですが、このほど、既存の「学校施設環境改善交付金」とは別枠で、新たに本年度補正予算限定の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」が創設され、柔軟な対応が見込めることになりました。

つきましては、この特例交付金を十分に活用し、来夏の稼働に向けた関連経費

を本定例会会期中に追加補正いたしますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

次に、幼稚園の民営化について申し上げます。

前回の議会でもお示ししたとおり、まずは東向陽台幼稚園の民営化について進めているところです。今後の民営化を進める手法をさまざま検討しているところですが、譲渡による民営化も手法の一つと考え、そのために必要な不動産鑑定を行なってまいりたいと考えております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

本年度から実施しております、「とみや子どもの心のケアハウス運営支援事業」については、10月11日に事業の拠点となる「富谷市子どもの心のケアハウス“ぼんぼこ広場 Tomiya”」が旧学校給食センター内に開所いたしました。今後もスーパーバイザーを中心に、児童・生徒と保護者等の心に寄り添った支援を行い、不登校の未然防止、不登校の早期学校復帰へ取り組んでまいります。

また、全国学力・学習状況調査については、8月に調査結果が公表されました。

本市の調査結果については、小学校の正答率は、全国の正答率と同程度または若干下回る結果となり、中学校においては、全ての教科で全国の正答率を上回る結果となりました。10月に開催した「学力向上推進会議」では、調査結果の分析と情報共有を行い、分析結果と今後の授業改善の要点については、市ホームページに掲載するとともに、学校ごとに保護者への周知を行いました。

今後は、分析結果をもとに、本市で取り組んでいる「学びの共同体」の学習スタイルを継続し、新学習指導要領の改訂ポイントでもある「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を展開させ、児童・生徒の基礎的・基本的な学力と発展的な活用力などの育成を目指して取り組んでまいります。

(2) 教育・国際交流関連施策について

次に、教育・国際交流関連施策について申し上げます。

ユネスコスクールについては、加盟申請をしておりました市立幼稚園2園と小中学校12校が、パリのユネスコ本部から加盟の承認を受け、これで市内全ての市立幼稚園、小中学校、そして、富谷高校がユネスコスクールとなりました。これを受け、11月27日に、「ユネスコスクール加盟認定証授与式」を開催し、ESD活動推進感謝状授与や記念講演、活動紹介を行ったところです。

今後も、本市 ESD/ユネスコスクール推進委員会を中心に、ユネスコスクールの理念をもとに持続可能な教育の開発のための教育を推進してまいります。

(3) 生涯学習関連施策について

次に、生涯学習関連施策について申し上げます。

図書館整備については、先の議員全員協議会でご説明しましたとおり、開館時期を平成 33 年度から平成 34 年度へと 1 年延期いたしました。

これは、次年度実施する市内小中学校等へのエアコン整備を優先施策とし、計画的に財源を措置することと、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う、工事関係経費及び資材高騰を回避することが理由でございます。

このことから、基本・実施設計、建設工事の実施時期についてもそれぞれ 1 年延期となりますことをご理解いただければと思います。

なお、事業規模につきましては、市財源 5 億円を限度とし、外部資金 3 億円の調達を見込み、年度内に外部資金の受け皿となる基金を設置することとしております。なお、去る 11 月 29 日には、女子プロゴルファー大山志保様の訪問を受け、今年のミヤギテレビ杯ダンロップ女子オープンゴルフトーナメントで獲得した賞金 77 万 7 千円全額のご寄附をいただき、本基金の原資とさせていただくことで、了解をいただいたところです。

図書館整備の基本計画は、年度内に策定を終え、外部資金活用の検討を進めながら、基本・実施設計、建設工事へと取組を段階的に進めてまいります。

また、夢と希望に満ちた成人となられた方々を祝福するため、「富谷市成人式」を来年 1 月 13 日、午後 2 時から富谷市スポーツセンターを会場に執り行います。議会の皆様、関係機関の皆様のご出席を賜り、新成人を励ましていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

(4) 芸術・文化関連施策について

次に、芸術・文化関連施策について申し上げます。

富谷市民俗ギャラリーについては、7 月 1 日の移転・リニューアルオープン以降、「富谷宿 街道まつり」に併せて企画展を実施し、多くの方々に来館いただいております。移転 3 か月で昨年度 1 年間の来館者数を超え、皆様から大変好評をいただいております。引き続き、工夫を凝らした企画・運営に努めてまいります。

(5) 子育て関連施策について

次に、子育て関連施策について申し上げます。

放課後児童健全育成事業については、富ヶ丘小学校児童クラブ駐車場舗装工事が10月末に完了いたしました。また、富谷小学校敷地内への児童クラブ棟新築工事設計業務については、本年度中に設計業務を完了し、来年度中のクラブ棟完成を目指して、事業を進めているところです。

また、認可保育所における、保育士の業務負担の軽減と保護者にとっての必要な情報等を把握しやすくするため、業務支援システムを導入した認可保育所に対して、国の補助事業を活用し、ICT化推進のための補助を行います。

つきましては、本定例会の補正予算に、関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

4. 「基本方針－3 元気と温かい心で支えるまち」について

続きまして、「基本方針－3 元気と温かい心で支えるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 高齢者支援関連施策について

はじめに、高齢者支援関連施策について申し上げます。

「富谷市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」において、整備を予定しておりました「富谷中央・あけの平圏域の地域包括支援センター」については、本年7月に社会福祉法人「永楽会」と業務委託契約を締結し、10月1日に愛称「わかば」として開所いたしました。

また、ご長寿のお祝いについては、本年度95歳、100歳の節目を迎えられた方々に、直接訪問させていただき、祝意を申し上げるとともに、今日の本市の礎を築いていただいたことに対し、感謝を申し上げてまいりました。

(2) 健康・保健関連施策について

次に、健康・保健関連施策について申し上げます。

5月から実施しております各種検診事業については、10月の胃がん検診の未検者検診まで終了し、現時点での受診状況は、延べ4万6千5百人と昨年度を上回り、多くの市民の皆様にご受診いただきました。

また、産官学医連携協力により、10月は「歯周疾患の予防講座」、11月にはイ

オンモール富谷店を会場に「知ってお得な健康情報&塩エコキャンペーン」を行い、また「糖尿病のいま」と題して「とみや市民公開講座」を開催するなど、広く市民の皆様に対し、健康づくりの啓発とその推進に努めてまいりました。

(3) 医療関連施策について

次に、医療関連施策について申し上げます。

がん患者医療用ウィッグの購入助成事業及び骨髄バンクドナー助成事業については、10月から事業を開始し、がん患者医療用ウィッグの購入助成については、11月末日現在、既に5件の申請を受付けし、助成金の交付も行っているところです。引き続き、医療機関等との連携を図りながら、事業の周知啓発に努めてまいります。

(4) 障がい者支援関連施策について

次に、障がい者関連施策について申し上げます。

10月1日から運用を開始いたしました「重度障がい者等福祉タクシー利用券助成事業」については、11月末日現在で75名の方に申請をいただき、即日交付を行ってきたところです。現在のところ、大きな支障もなくご利用いただいております。引き続き、とみばす事業と併せて、高齢者・障がい者等の外出支援事業の推進に努めてまいります。

また、障がいをお持ちの方の重度化・高齢化や「親なき後」を見据え、安心して暮らせるような居住支援体制の整備、いわゆる「地域生活支援拠点整備」については、厚生労働省が示す平成32年度の整備期限に向け、これまでも「富谷市・黒川地域自立支援協議会」において検討を重ねてまいりました。中でも「緊急時の受入れ」体制の構築については、優先的に協議を進めてまいりましたが、このたび、黒川4市町村において合意が成されましたので、今後は、来年度からの運用開始を目指して準備を整えてまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に債務負担行為を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく願いいたします。

(5) 障がい者・高齢者支援関連施策について

次に、障害者・高齢者支援関連施策について申し上げます。

高齢者・障がい者外出支援乗車証「とみばす」については、今年度、新規に高

齡者、障がい者合わせて 352 名の方に申請いただき、昨年までの更新者を含めまして、10 月 1 日現在、2,476 名の皆様にご利用いただいております。

5. 「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」について

続きまして、「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 防災・救急・消防関連施策について

はじめに、防災・救急・消防関連施策について申し上げます。

防災関連については、去る 11 月 11 日、富ヶ丘公民館をメイン会場に、富ヶ丘、鷹乃杜、上桜木地区の各町内会館をサブ会場にした「富谷市総合防災訓練」を実施し、4 町内会から約 500 名の皆様にご参加いただき、同日には、日吉台中学校では初めてとなる「地域防災訓練」が行なわれました。

この総合防災訓練では、自助・共助・公助という役割を明確化し、連携体制を強化するものと位置付け、各種訓練のほか、仙台管区气象台による講演、くろかわ商工会富谷事務所による飲料水等の輸送・搬入訓練も取り入れ、大規模災害に備えたところです。

日吉台中学校での「地域防災訓練」では、生徒のみなさんに、守られる側から役割を担う側になるという体験をしていただきました。

これらの訓練を通し、地域の一員として、地域の繋がりと、常日頃から防災意識を持つことの大切さを自覚していただいたものと思っております。

また、宮城県防災指導員養成講習会が 1 月に本市で、フォローアップ講習会が 2 月に大和町で、それぞれ開催されることとなっており、引き続き、地域の防災リーダー育成に努めてまいります。

消防関連については、11 月 9 日から 15 日までの 7 日間、全国一斉に「秋の全国火災予防運動」が展開され、富谷市消防団では、11 月 4 日に一斉広報等を、富谷市婦人防火クラブでは、11 月 13 日に火災予防キャンペーンを実施していただくなど、地域における火災予防啓発活動に取り組んでいただいたところです。

また、本市では、今年 6 月に発生した大阪府北部地震によるブロック塀倒壊事故を教訓として、小学校 8 校の半径 500 メートル以内の「スクールゾーン内ブロック塀マップ」を作成しました。区域内には、約 470 箇所ブロック塀があり、現在、今年度内の完了を目標に、安全性を確認するための現地調査を宮城県

と協力して実施しております。

(2) 防犯・交通安全・消費者保護関連施策について

次に、防犯・交通安全関連施策について申し上げます。

地域の防犯対策として、各中学校区に防犯カメラを1台ずつ設置することとし、来年2月末の完成に向けて、作業を進めております。

また、交通安全施策については、9月21日に「平成30年秋の交通安全県民総ぐるみ運動富谷市出動式」を実施いたしました際には、議会の皆様にもご参加をいただきました。改めて感謝を申し上げます。

残念ながら、死亡事故ゼロは、本年8月に一旦途切れてしまいましたが、今後も引き続き、交通死亡事故を無くすべく、交通安全意識の普及・啓発を図りながら、交通事故防止に向けた取り組みを推進してまいりますので、皆様方のさらなるお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

防犯灯のLED化工事については、市内10地区において、約1,000灯の交換工事を完了しました。

来年度は、この事業の最終年度となりますので、まだ実施していない地区において、約830灯の交換工事を実施する予定です。

(3) 人権尊重・男女共同関連施策について

次に、人権尊重・男女共同関連施策について申し上げます。

「富谷市男女共同参画基本計画」の策定については、先の議員全員協議会でもご説明申し上げましたとおり、富谷市男女共同参画推進審議会において基本計画の素案が取りまとめられました。今後、パブリックコメントのご意見等を踏まえ、計画案の答申をいただくこととしており、本年度内の策定に向け、着実に取り組んでまいります。

(4) 環境衛生関連施策について

次に、環境衛生関連施策について申し上げます。

空き家対策事業についても、先の議員全員協議会で説明させていただきましたが、3回の協議会を経まして「富谷市空き家等対策計画～空き家の利活用促進に向けて～」の最終案がまとまりました。今後は、策定に合わせ、関係機関との協定及び相談体制等の構築に向けた準備を進めてまいります。

(5) 省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について

次に、省エネルギー・再生可能エネルギー関連施策について申し上げます。

防犯灯と道路照明灯のLED化工事を実施し、防犯灯のLED化については、先ほど述べさせていただきましたが、道路照明灯のLED化工事については、「みやぎ環境交付金」を活用し、104灯の交換を完了しました。来年度も引続き、「みやぎ環境交付金」を活用して、道路照明灯のLED化工事を実施してまいります。

(6) 住民参加・協働関連施策について

次に、住民参加・協働関連施策について申し上げます。

市民協働を推進するにあたり、10月に職員を対象とした「富谷市市民協働推進研修会」を実施いたしました。当日は、多くの議員の皆様にもご参加いただき感謝申し上げます。今後は、市民の皆様を対象に、協働の理解を深めていただく機会として、セミナーを開催することとしております。また、ワークショップなど実践につながる取組を通して、協働の仕組みやルールづくりの検討を進めてまいります。

町内会館の整備については、穀田会館新築工事が11月30日に竣工し、12月から穀田町内会の皆様にご使用いただいております。

また、(仮称)杜乃橋二丁目会館の設計及び地質調査業務も順調に進捗しており、平成31年中の完成を目指して、本定例会の補正予算に建設に係る関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

(7) 行財政経営関連施策について

次に、行財政経営関連施策について申し上げます。

11月3日に開催しました市政功労者表彰式では、多年にわたり市政発展のためにご尽力いただきました皆様20名と1団体を表彰させていただきました。これまでのご尽力に改めて敬意と感謝の意を申し上げます。

職員採用・職員研修及び人材育成については、8月の議員全員協議会においてご説明申し上げておりましたが、複雑・高度化する社会経済環境に積極的に対応していくため、専門的知識と能力、幅広い視野の習得を目指し、来年度から宮城大学大学院事業構想学研究科博士前期課程に職員を研修派遣することといたしました。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

平成 26 年度から検討を重ねてまいりました「自治体クラウド」については、10 月 1 日、市役所を会場に「富谷市自治体クラウド稼動記念式典」を執り行いました。宮城県内初めての自治体クラウド導入となりますので、今後一層、セキュリティの向上、運用コストの削減、耐災害性の向上を図り、住民サービスに努めてまいります。

連携協定の締結状況については、9 月 28 日に、みやぎ生活協同組合と「安心して暮らせる地域づくり」に向けて、包括連携協定を締結いたしました。みやぎ生活協同組合とは、これまでも個別の協定により、さまざまな取組を行ってまいりましたが、それらを包含した包括連携協定により、これまで以上の連携・協力が図られることとなりました。

また、本市の情報発信力をさらに強化するため、LINE による市政の情報発信を今月 11 日から開始することといたしました。

LINE は、スマートフォンのアプリの中でも利用率が非常に高く、日本の人口の約 6 割が利用していることから、特に若年層や子育て世代への情報発信に有効なツールと考えております。

最後に一言、わたくし自身のことについて申し上げます。

わたくしは、平成 27 年 2 月、町民の付託を受けて町長に就任し、以来、一貫して「住みたくなるまち日本一」の実現のため、日々、全力で取組んでまいりました。この間、市制施行という歴史的な大事業とともに、一つひとつの施策に丁寧に向き合い、着実な歩みを進めることができましたのも、市民の皆様、議会の皆様のご理解とご協力の賜であり、あらためて感謝を申し上げます。

富谷市は今年、市制施行 2 周年を迎え、3 年目に入りましたが、市としてのまちづくりは、これからが重要であります。わたくしには、本市の将来ビジョンとなる富谷市総合計画を策定し、また、将来にわたる安定した行財政運営の指針となる富谷市行政改革基本方針・実施プランを策定したものとして、これを具現化し、そして成し遂げる責任と使命があります。

来年 2 月、わたくしは、はじめての任期を迎えますが、富谷市の未来に向けた発展の礎をつくるべく、「住みたくなるまち日本一」を目指して、引き続き、全

身全霊で取り組むべく、再度、市長選挙に立候補する決意を固めました。

来年 2 月の任期満了にあたり、わたくしの決意をここに申し述べ、開会のご挨拶とさせていただきます。